

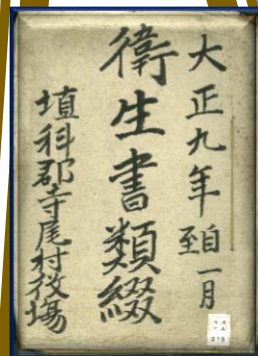
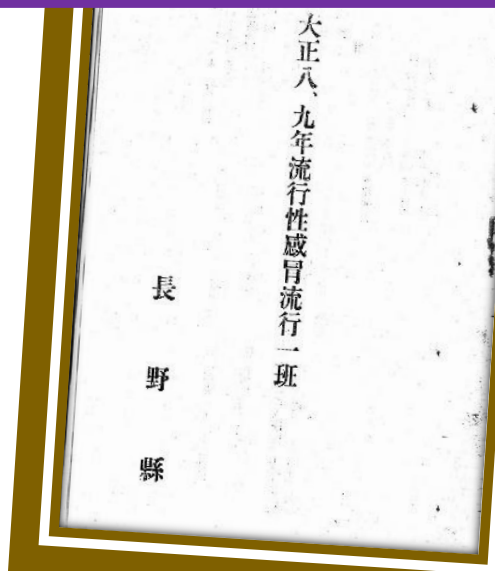
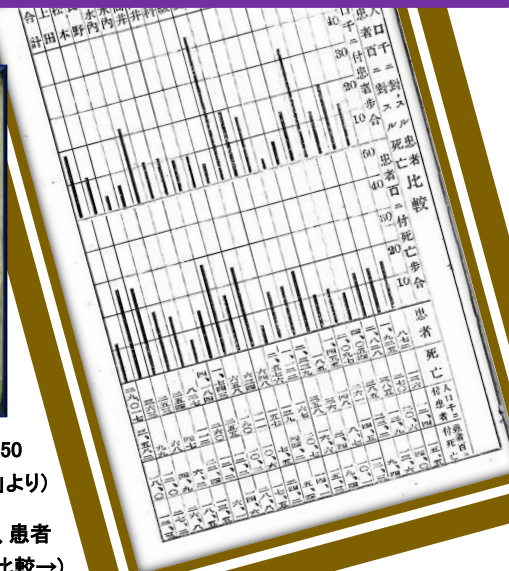
## 長野市公文書館便り

2020  
Summer

●発行日：令和 2年(2020年)7月15日 ●発行：長野市公文書館

©NaganoCityArchives

## スペイン・インフルエンザの大流行

(旧寺尾村役場 1大 250  
「衛生書類綴」より)(人口千に対する患者、患者  
百に対する死亡比較→)

新型コロナウイルス感染症の大流行で、世界中は大混乱に陥っています。このような感染症の大流行をみたのは、実は初めてではありません。約100年前の大正7年(1918)から9年にかけて、スペイン・インフルエンザ(スペイン風邪)が世界中で猛威を振るいました。正確な記録はありませんが、世界全体で死亡者は2000万から4500万人と推定されています。日本国内でも死亡者は約50万人に達したと言われています。第一次世界大戦の戦死者は約1000万人ですから、このインフルエンザがいかに甚大な被害をもたらしたかが分かります。

日本国内で最初にスペイン・インフルエンザ・ウイルスによる患者が発生したのは大正7年9月末から10月初めと推測されています。ウイルスは7年秋から8年春の前流行、8年暮から9年春の後流行と、2回にわたって日本を襲っています。7年の長野県の流行は、10月23日付『信濃毎日新聞』が長野商業学校(現長野商業高校)での罹患生徒の欠席を報じたのが最初でした。県は同年10月26日、長野県告諭で、秋になって「悪性感冒」が流行しはじめたとして、この悪性感冒を「予防撲滅」するため、注意事項を示しています。

日本国内のスペイン・インフルエンザは大正9年6月頃には、ほぼ終息しました。ここで紹介するのは、長野県が同年10月に発行した『大正八年、九年流行性感胃一斑 長野県』(写真)です。残された資料が少ない中で、8から9年の、県内の後流行についてまとめた貴重な資料といえることができます。内容は(1)流行の概況、(2)予防注射及其成績、(3)予防措置、(4)附録からなっています。

大正8年9月から9年5月の県内の患者数は29,017人、死亡3,582人と報告されています(最近の研究では、全期間を通じた長野県の死亡者数は12,853人となっている)。(3)の予防措置には、①予防に関する思想の啓発、②予防接種及マスク・うがいの奨励、③集合禁止、学校・工場閉鎖など、④各種広益団体活動、⑤患者治療の状況、⑥伝染病院・隔離病舎の利用があげられています。予防事務従事者・警察官・役場職員には、公費購入の予防液・マスクを配布し、女学校生徒にはマスクを作製させて実費配布をしています。休校した学校は38校、従業員の外出を禁止した工場もありました。当時の保健・医療体制の下で防疫に尽力した様子がうかがえます。

(速水融『日本を襲ったスペイン・インフルエンザ』藤原書店参照)

長野市公文書館は、新型コロナウイルス感染防止対策として、1.座席数を減らし間隔を空ける 2.受付に飛沫感染防止用のアクリル板の設置 3.テーブル、ドアノブのアルコール消毒や換気を定期的に行う等感染防止に努めています。また、来館者の皆様には、マスクの着用、入館時の手指のアルコール消毒をお願い申し上げます。ご協力をお願いいたします。

# 『市誌研究ながの』27号発売中



★B5判・244頁 頒布価格1,600円(税込)

今号は、公文書館移転記念講演「中世の善光寺と善光寺信仰」の収録、松代藩「寛保改革」の前提としての元文年間史料分析、大本願所蔵『善光寺五重塔図』の建築・彫刻に関する検証、明治初頭の小学校教育に関する論考、大正から昭和初期の長野中央道路(通り)拡幅直後の沿道建築の考察等論文・研究ノート10編を収録しています。

## 日々是文書 ～スタッフ通信～



### 【活動記録】

- ・ 4/15～5/15 新型コロナウイルス感染防止のため休館
- ・ 5/17～ 三密(密集・密閉・密接)を避けたレイアウトで開館

【公開資料】・山本邦夫文書 121点、平井家文書 51点、春日家文書 644点、塚田湧長家文書 429点(古文書)

- ・ 図書目録更新しました。

# 古文書紹介

「長野停車場権堂間新設道路 千歳町開通式 はな火の図」(古180-1)



今回紹介するのは、明治23年(1890)11月2日に第3線路として開通した千歳町通りの開通式でお祝いの花火を打ち上げている光景を描いた絵図です。当日は、数百発の花火が打ち上げられ、かなり盛大なオープニングセレモニーだったようです。「長野町」「権堂」等の職も描かれています。駅ができ、道路ができ、人や物が動きだしていきました。

ところで、長野駅周辺には、第1線路(末広町通り)、第2線路(石若町)という通りがすでに存在していました。現在では、第1、第3は町名が通り名になっていますが、第2線路だけは、いわゆる「ニセン口通り」と、今でも使われています。

**今年度の講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきます。**



※長野駅東口より徒歩 約25分

## 【公共交通機関のご案内】

長電バス又はアルピコ交通「日赤」下車、徒歩3分

●長野駅(東口)からは、長電バス 日赤経由アークス中央・ビッグハット・水野美術館方面行をご利用ください。

●長野駅(善光寺口)からは、アルピコ交通 日赤経由大塚南・松岡・サンマリーン方面行をご利用ください。

※駐車場が少ないので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

## 長野市公文書館

所在地 〒380-0928  
長野市若里六丁目6-2  
長野市若里分室内  
電話 026-224-0701  
FAX 026-224-0702  
E-mail shomu-9@city.nagano.lg.jp  
ホームページ <http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>